水土里レポート　投稿様式	
投稿月日	平成３０年１１月２２日
タイトル	ぜんぶ手で刈ったよ！２０１８
水土里レポーター名	水土里ネット福山　佐々田　愛

平成３０年１０月１９日（金）福山市立駅家西小学校５年生６０名が、駅家西小学校の北側にある約３００㎡のほ場で駅家西学区内の町内連合会会長、町内会長、公民館館長さん指導の下稲刈りを体験しました。

学区の全ての町内会から町内会長さんをはじめ多くの地域の方が学区全体の取組としてこの農業体験を支えて下さっており、６月に田植えをして田んぼを管理してくださいました。

校庭に集合し、みんなで歩いてほ場に向かいました。ほ場に着くと地域の方が大勢集まっておられ、端の方を刈ってはぜ掛けをして待っておられました。

子ども達は、先に稲を刈る子と刈った稲を束にする子に分かれて稲刈り開始です。地域の方に傍についてもらい、稲刈りの仕方や束に括るやり方を教わりながらしました。殆どの子が稲刈り初めての子ばかりですが、鎌をザクザクとすぐに上手に刈れるようになりました。稲を束に括るのは難しく、地域の方が一つひとつ手直ししておられました。

半分刈ったら、交代してみんなが稲刈りと括るのを同じようにしました。全部刈り終えたところで子ども達の帰宅時刻になってしまい、はぜ掛けを地域の方に任せて帰ることになりました。

みんなで協力してどんどん稲を刈りました！

きつく括るのは難しい！一生懸命です！

一旦集合し、子ども達から「鎌を使うのはすぐ慣れたけどはぜ掛けが難しかった。」「初めて稲刈りをして楽しかった。」「お米を作るのが大変だとよく分かったので、今度から食べ物を大事にしたい。」と感想を話しました。最後に、子ども達から大きな声で「ありがとうございました。」と挨拶があり、連合町内会長から「お米になって食べられる日を楽しみにしてください。」と挨拶されました。

子ども達を見送り、地域の方ではぜ掛けをしました。今は全く手で稲刈りをしませんが、すぐに思い出して上手に稲刈りや束に括るのをしておられました。最後は落穂拾いをして終わりました。